

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健康やかに令和4年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、市政全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの日常生活は大きく変わりました。地域経済や医療現場のほか、市政運営におきましても甚大な影響を受け、さまざまな事業について規模縮小、延期や中止をせざるを得ない状況となりました。

このような状況の中、市民の皆様をはじめ、医療機関の皆様のご理解とご協力により、円滑に新型コロナウイルスワクチン接種を実施することができました。3回目のワクチン接種につきましても、引き続き、国、

ウイルス感染症に伴う景気の後退などにより、市の財政は極めて厳しい状況となっております。

厳しい財政状況の中ではありますが、持続可能で安定した行財政運営を行っていくため、市の先頭に立って既存事業の見直し、公共施設の統合再編やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進などの行財政改革に取り組んでまいります。

また、都市計画道路などの都市基盤整備や保健・医療環境の整備を着実に、市民の皆様にとって住みよいまちとなるよう、スピード感を持って誠心誠意取り組んでまいります。

令和4年の年頭に当たり、市民の皆様が安心、安全に暮らし、活力にあふれ、未来へと成長する白岡を築いてまいりたいと決意を新たにしております。今後も市民の皆様のお力をお借りしながら、発展を続けるまちを目指してまいりますので、市政運営により一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご一年のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。あいなさつとさせていただきます。

県及び医療機関などと緊密に連携し、安心、安全な接種を実施してまいります。

第6次総合振興計画と市制施行10周年

さて、本年4月から、市の最上位計画であり、今後10年間にけるまちづくりの基本方針を示す「第6次白岡市総合振興計画」がスタートいたします。この総合振興計画に掲げる「市民に寄り添うまちづくり」、「チャレンジするまちづくり」、「持続可能なまちづくり」の3つのまちづくりの基本理念のもと、まちの将来像である「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

さらに、本年10月には白岡市が誕生してから10年の節目を迎えます。市民

の皆様には、これまでの市政運営にご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、全国的に人口減少が懸念される中、本市においては昨年2月から人口が増加傾向にあります。これは、地理的な要因以外にも、子育て支援や都市基盤整備を進めるなど、子どもから高齢者の皆様にとって魅力あるまちづくりを推進してきた賜物だと確信しております。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではありますが、「誰もが住みよいまちづくり」のため、引き続き各種施策を展開してまいります。

コロナ禍における安定した行財政運営のために

少子高齢化などによる医療や介護などの社会保障費の増大や、新型コロナ

白岡市長

藤井栄一郎

